

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第1回地域福祉活動計画策定委員会
開 催 日 時	令和7年10月3日(金)午後1時30分～3時15分
開 催 場 所	武蔵村山市民総合センターボランティア・市民活動センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：比留間委員長、菱沼副委員長、吉野委員、小川委員、石橋委員、 吉澤委員、太田委員、戸村委員、持田委員、福井委員、西原委員 欠席者：志村委員、棚橋委員、中村委員、大坪委員 事務局：会長、事務局長、福祉総務課長、総務係長
議 題	(1) 講義：テーマ「地域福祉を取り巻く動向と活動計画の意義について」 講師：日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授 菱沼 幹男 氏 (2) 策定スケジュールについて (3) アンケートの実施について (4) その他
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保 留事項等を記載す る。)	(1) 菱沼教授の講義により、地域福祉の動向と地域福祉活動計画の意義について確認した。 (2) 本市の地域福祉計画策定スケジュールを参考に作成した地域福祉活動計画策定スケジュール案について承認を得た。また、パブリックコメントを実施することを決定した。 (3) 令和2年度に実施した専門職アンケートについて説明し、今回の計画作成においても同様のアンケートを実施する旨、事務局より説明し了承を得た。 (4) 事務局より現在の第三次地域福祉活動計画の職員による評価シートについて、12月16日(火)締切で、各委員へ評価を依頼したが委員より、先に社協職員による評点を記載するよう意見があり、後日、評点を記載したシートを各委員へ配布することとした。次回の開催日は令和8年1月16日(金)午後1時30分からとする。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は 一つにまとめる。) (○=委員、 ■=委員長、 ●=事務局)	※議事進行前に、事務局から配付資料の確認をした。その後、会長挨拶。次に「社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会設置要綱」(資料1ページから2ページ)に基づき、委員を選出し、本会の委員長に比留間委員、副会長に菱沼委員を会長が指名したことを報告した。また、「社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会の会議及び会議録の公開に関する指針」と「会議の公開に関する運営要領」(資料4ページから7ページ)について説明し、会議を公開することについて、異議なく了承された。次に事務局より、第四次地域福祉活動計画の策定の概要(資料8ページから9ページ)について説明した。 【報告事項】 (1) 「地域福祉を取り巻く動向と活動計画の意義について」講義 【説明要旨】(参考：講義資料1ページから12ページ) 講義では、重層的支援体制整備事業として、既存の制度の狭間にいるかたへの支援や分野を横断した包括的な相談支援の必要性と個別支援と地域づくりを一体的に展開していく重要性について。また、国の調査結果で、特に20代から50代で孤独感が強いことが示されており、「望まない孤立」をなくすための多様な居場所やつながりづくりの必要性について提起された。認知症についても介護保険サービスだけでなく、今までの馴染みの関係性や多様な活動場面の中での暮らしを継続できるよう支援する視点が求められている等、説明があった。 【主な意見等】 ■ 講義について質問はあるか。

● 質疑無し。

(2) 策定スケジュールについて

【説明要旨】（参考：資料10ページ、別紙1、別紙2）

本市の第六次地域福祉計画策定スケジュールに併せ、第四次地域福祉活動計画策定スケジュールを事務局で作成した。本会議は、今年度3回、次年度3回の実施を予定し、令和8年10月までに計画案の完成を目指す。今回は市に倣いパブリックコメントを実施した方がよいか、委員の意見を求めたい。

■ 市の第六次地域福祉計画策定スケジュールについて、市の福祉総務課持田課長より、説明していただきたい。

○ 市の第六次地域福祉計画策定スケジュールは別紙1のとおり。今年度、来年度の2か年で作成し、今年度についてはアンケートを実施し来年度に計画を策定する予定となっている。今年度は、プロポーザルでコンサル業者を選定し、6月に契約を済ませた。アンケートは庁内の関係各課、社協に内容の照会をかけ、意見をまとめて作成した。現時点で10月7日（火）にアンケートを配布予定。無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人を対象に市民意識調査を行う。アンケートは、インターネットでも回答できるような仕組みとなっている。その他、ボランティア関係の活動団体、100団体程を対象にアンケートを行い、10月24日（金）までに回収予定。11月から12月にかけて、コンサルと調査結果の集計分析を行う。1月から2月にかけて、アンケートの報告書を作成し、3月に関係機関へ配布予定。現時点では、予定ということになるが団体のグループヒアリングを行い団体の活動内容や課題を把握し、今後の活動に活かすことも検討している。令和8年度については、アンケートや活動団体へのヒアリング結果等も参考にし、4月から計画を策定する。5月から庁内の策定委員会、その後、策定懇談会を開始し、2つの委員会でキャッチボールながら意見を集約していきたい。令和8年10月までに計6回の委員会を実施し、11月には、ある程度原案をまとめ、市長報告し、その後、パブリックコメントを実施したい。12月には市民説明会を行いそこでの意見やパブリックコメントでの意見を反映した形で、令和9年1月に最終7回目の庁内策定委員会を開催後、市の調整会議にかかり、2月には議会の全員協議会、庁議を経て、原案決定という流れとなる。3月には、計画の印刷、納品を予定している。

■ 説明いただいた内容について質問はあるか。

○ 質疑無し。

● パブリックコメントの実施について意見をうかがいたい。

■ パブリックコメントの実施について意見はあるか。

○ 社協は何をしているのかわからないというかたも多いため、色々なかたに活動を知ってもらうためにもパブリックコメントを実施すればよいのではないか。

○ 異議なく、パブリックコメントを実施することとする。

(3) アンケートの実施について

【説明要旨】（参考：資料11ページから15ページ、別紙第三次地域福祉活動計画 いっぽ計画28ページから38ページ）

● 資料に基づき事務局説明

第三次地域福祉活動計画策定にあたり、令和2年度に資料12ページから15ページの「地域福祉を担う専門職へのアンケート」を実施した。アンケート結果は、第三次地域福祉活動計画いっぽ計画28ページから38ページに記載している。このアンケートは、社協のスーパーバイザーでもある菱沼委員のアドバイスにより実施した。

【主な意見等】

○ アンケートの回収率が38.3%となっている。回収率が高いのか

低いのかイメージがつかないが多くのかたの意見を取り入れたいのであれば、もう少し回収率を上げるような方法があるとよいのではないか。

- 回収率は他と比べてはいないが、回収率を上げるために、ヒアリング等の方法も取り入れていきたい。
- 市が実施するアンケートと社協が実施するアンケートの内容が重複しないよう、どのように調整しているのか。
- 市が実施するアンケートの原案をいただき内容を把握するとともにこちらが聞きたい内容も盛り込んでいただき連携した。令和2年度に実施した内容の他、各事業所の利用者等へのアンケートも検討している。
- 市のアンケートでは、社協に関する質問は3問で、1つ目が「あなたの知っている社協の活動について」、2つ目が「社協は市民の会員会費や寄附金で様々な地域福祉活動を実施しているが、あなたは社協を利用したことがありますか。」3つ目は、「社協が行う活動支援として充実してほしいものは次のうちどれでしょうか。」というもので今後の活動につながる質問だと考えている。この3つは、前回5年前のアンケートと整合性を図るということも踏まえ、社協と連携しながら決めた経過がある。
- 令和2年のアンケートでは、医療機関のソーシャルワーカーも対象だったのか。
- ソーシャルワーカーは前回含まれていなかったが、自ら訴えることができない方の声を代弁するという意味で、専門職のアンケートは必要。次のアンケートでは含めてほしい。
- 専門職へのアンケートにしては回収率が低いように感じる。あまり自由記述欄が多いと回収率が上がらない傾向がある。ある程度は選択肢を設け、その上で自由記述とした方がよいと思う。
- 選択肢を設ける問題点としては、回答が誘導的というか狭まってしまふ懸念があるが回答率は上げられるのではないか。
- 前回のアンケート結果がまとまっているので、それを踏まえ、選択肢を設けてはどうか。先程の講義の重層的支援体制整備に関する選択肢等もあるのか。
- 先日府中市の地域福祉計画に関するアンケートでは、国の実施した、孤立・孤独に関する調査の選択肢をそのまま丸ごと入れていた。こちらは国の実施したものと比較できるというところがある。
- 今回の市のアンケートでは、隣近所との付き合いはどの程度か、またどの程度孤独かという設問がある。
- 引きこもり対策では、Twitterで「引きこもり状態についてお伺いします。」という質問をしている所もある。アンケートを地区ごとに集計できると、その地区の方々が自分の地区はどうか知ることができる。
- アンケートは地区や年齢の偏りがないように行い、住んでいる地区も聞いているので、地区ごとの集計は可能。
- 令和2年度のアンケートは調査対象が191人とあるが、今年度はもう少し事業所が増えているのではないか。
- ご意見のとおり、事業所は増えているので、対象を増やして実施する予定。ご意見を踏まえ、アンケート内容を検討する。

(4) その他

【引きこもり支援について】

- 引きこもりのかたの相談にのっているが、社会とのつながりをどこでみるのか。例えばコンビニへ行っただけ、ちょっと歩いているだけでも社会とつながっているのか。仕事等、色々しているからつながっているのか。引きこもりにも色々あり、例えば、自律神経の関係でな

	<p>かなか外に出られず、たまに外出する。でも自分は引きこもりではないということもある。家族も対応がすごく難しいところ。我々家族会で「あそこはいいよ。」という相談先の口コミがある。当事者は一度ここはだめとなると、そこはもうだめだと決めつけてしまう。チャンネルがたくさんあった方が、次に行くチャンネルを増やすことができる。</p> <p>○ 当事者は社会とつながるべきとなるとしんどくなる。自分の気持ちを安心して話せる相手がいるかどうか、誰かの役に立てることの喜びを感じられる場があるかが大切。自ら望む孤独ではなく、望まない孤独になっていないか。やはり当事者の気持ちを聞くことが大切になる。安心して気持ちを話せる場を地域の中に増やせることが大切。</p> <p>■ 前回の地域福祉活動計画の策定委員会では、アンケートで外部の意見は聞いたが、社協の職員のみで計画を策定した。今回は、外部の委員に入っただき、色々な意見を取り入れながら作成できるとよいかと思う。</p> <p>○ 引きこもりの子の親が亡くなった後の支援が課題。10代、20代までの支援は手厚いが、それ以降の支援は難しい。</p> <p>【評価シートについて】</p> <p>● 追加資料で配布した「1 武蔵村山市社会福祉協議会 第三次地域福祉活動計画 いっぽ計画 評価シート」及び「2 武蔵村山市社会福祉協議会 第三次地域福祉活動計画 いっぽ計画 地域福祉活動推進事業の展開の評価シート」をご参照いただきたい。2つのシートは社協内部検討委員会活動計画委員会で作成したもの。別紙3の評価シートに1のシートに対する委員の評点と評価、次期活動計画への意見を記載し、12月16日（火）までに事務局へ返送いただきたい。</p> <p>○ 評価シートのデータを送付してもらえるか。</p> <p>● メールで送付する。</p> <p>○ この評価シートには社協自身の評点の記載がない。まずは社協で自己評価を示し、各委員には、その評価を見て質問やコメントをしてもらうというやり方もあるのではないか。</p> <p>■ では、そのような形で社協の自己評価を記載したものを各委員へ送付し、コメントしてもらうことにする。締め切りは変更しないのか。</p> <p>● 締め切りは、もう少し遅くする。</p> <p>6 開会</p> <p style="text-align: right;">—以上—</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公 開</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非 公 開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>{ }</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0人</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開 示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 非 開 示(根拠法令等： _____)</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>福祉総務課 総務係 電話042(566)0061</p>
--------------	---------------------------------

(日本工業規格A列4番)